

# 香川県善通寺市

テーマ:まちの再生に向けて民間事業者や市民プレイヤーを下支えする行政としての「第一歩」的取組



【立地適正化計画】  
 令和2年3月公表 (都市機能誘導区域)  
 令和2年3月公表 (居住誘導区域)  
 【都市再生整備計画 (滞在快適性等向上区域)】  
 令和3年3月公表

○ 公民連携を基本としてプレイヤーと公共組織を繋ぐ新たなプラットフォームを構築し、周辺のハード整備計画を策定するとともに、市庁舎・図書館等の公共施設と都市公園の一体的整備を契機に道路空間の利用方法を見直し、大学や高校などの教育機関をはじめとした多様な主体と連携し、若者も公共空間を利用し、まちなかでの滞在時間を延ばす空間を作り出す。

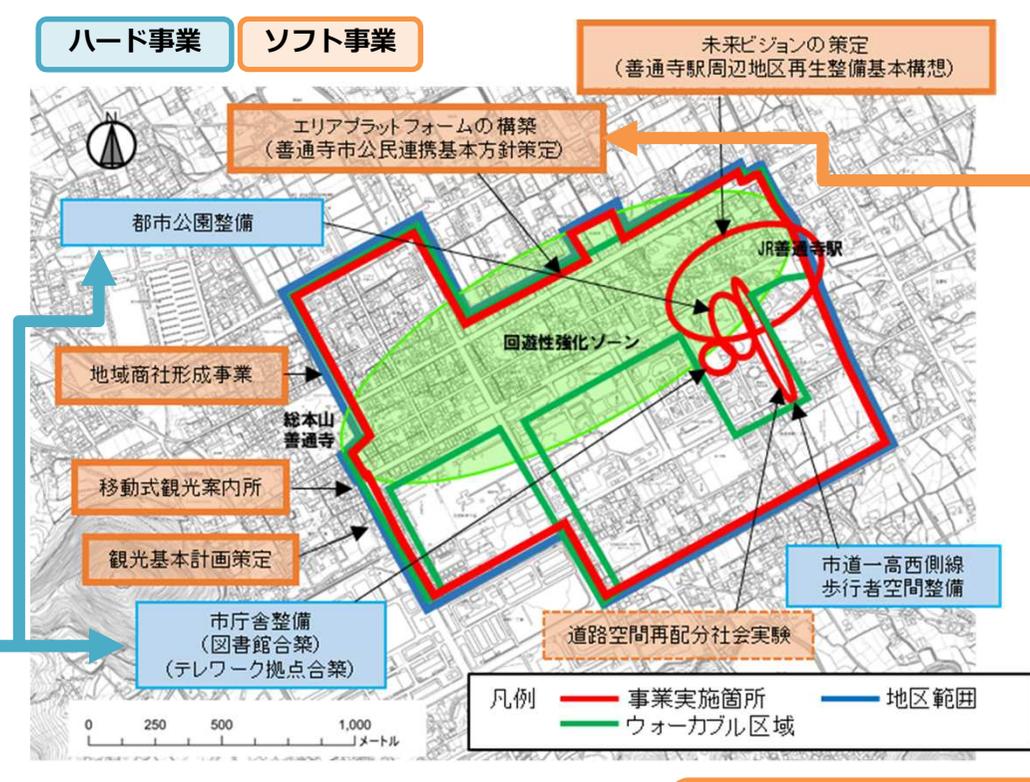
○道路空間の活用  
 市庁舎・図書館・テレワーク拠点の合築 (複合施設化) と都市公園の一体的整備を契機に道路空間の利用方法を見直し、公園と一体となって民間に「使ってもらえる」空間へと転換させる。

複合施設

公園

空間を見直す道路

■基幹事業  
 (高次都市施設-テレワーク拠点)  
 図書館屋外ガーデン整備事業



○エリアプラットフォーム構築  
 公的不動産を活用して利益を上げるプレイヤーの発掘や、プレイヤーのニーズに迅速かつ的確に応える仕組みを整えるため、プレイヤーと公共組織を繋ぐ新たなプラットフォームのあり方や公民連携の基本方針や基本計画について定める。

○駅周辺整備  
 公共施設の収益源として安定的な収入の見込めるJR善通寺駅と隣接する市営駅南駐車場、市営自転車駐車場について、駅機能と一体となった公共施設の在り方を再考。利用者の利便性とエリア価値向上に資するための管理運営方法や新たに付与すべき機能・施設などについて、官民協働しながら検討。

JR善通寺駅(交通結節点)

## 目標設定

**歩行者数**  
 片原町線における駅前(定点)の歩行者数を増加基調に  
 (従前値) 1,371人/日 (令和元年)  
 → (目標値) 1,900人/日 (令和5年度末)

○隣接する大学や高校との連携により若者の滞在時間を創出  
 善通寺駅～総本山善通寺までのウォーカブル区域は、大学やデザイン科が設置された県立高校が隣接している。新庁舎建設に際し、都市公園「偕行社広場」整備と併せて、公園との空間を仕切りなく一体的に運用することで滞留空間として1車線化の社会実験中に文化祭等を開催することで、芸術作品を歩道に展示し会場の一部として観てもらうなど、教育機関と連携したイベントの開催を計画。